



学校だより

令和6年6月28日発行

立川市立若葉台小学校 校長 松村 利一
〒190-0001 立川市若葉町1-13-1
TEL 042-536-3971 FAX 042-534-6943
HP <http://www.tachikawa.ed.jp/es21/>

物を大切に作る心

校長 松村 利一

来週から7月となり、1学期の授業日数も残すところ19日となります。夏休みを待ち遠しく思う子ども達ですが、子ども達には1学期の成長を振り返らせるとともに、最後まで落ち着いて根気強く学習に取り組む姿勢をもたせたいと思います。

今週の全校朝会では、子ども達に「物を大切にしましょう」という話をしました。子ども達とともに生活・学習を進めている中で、自分の物やみんなで使う物（学校の施設を含みます）を大切にできていないと感じる場面が見られたからです。学用品を乱暴に扱って壊してしまったり、使ったものを元の場所にきちんと戻さなかったり、トイレや流しの使い方が良くなかったりするような姿を見かけることがありました。私は「物を大切に扱える人」は「人の心も大切に扱える人」が多いと思っていますが、世の中には使い捨ての物があふれ、次々と新しい商品が生み出されたり安価な商品が手に入りやすくなったりしているため、私たちの中に物を長く大事に使い続けるという意識が薄れてきているのではないかと心配になります。私が、「物を大切に扱える人」は「人の心も大切に扱える人」だと思ふ理由は、物を大切にすることの土台に「感謝の気持ち」や「思いやりの気持ち」「愛おしむ気持ち」があると思うからです。私がまだ担任をしていた頃、クラスの子（6年生）が卒業間近に書いた素敵な詩のことを今でもよく覚えています。その子は、小学校に入学するときに買ってもらった筆箱を6年間ずっと大切に使ってきました。お母さんから「一生懸命勉強してね。楽しく勉強してね。」と声をかけられて渡された筆箱です。その子は、筆箱を手にした時の嬉しさ、お母さんとの思い出を大切に思う気持ちにも触れながら、6年間自分と一緒に授業を受け、自分の成長を助けてくれ続けた筆箱への感謝の気持ちを詩に書いていました。心を動かされた素敵な詩でした。

若葉台小学校の子ども達には、人にも物にも優しく、思いやりの気持ちと感謝の気持ちをもって接することができるようになってほしいと心から願っています。



【御礼】 先日の学校公開では、たくさんの保護者・地域の皆様にご参観いただくことができました。ご多用な中、本当にありがとうございます。いただいたアンケートのお声を読ませていただき、たいへん多くの感謝の言葉・励ましのお言葉に胸が熱くなる思いでした。また、至らなかつた点につきましては、ご意見を真摯に受け止め、改善に努めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いたします。